

とうべつ

議会だより

No 163

平成22年11月1日発行



政宗公まつり

当別町の姉妹都市である宮城県大崎市の岩出山で47回目の政宗公まつりが9月12日に開催されました。まつりのメインイベントは勇壮な伊達武者行列で当別町140年記念のパレード(10月10日)でも再現されました。

第4回 定例会

平成22年9月

議案審議	2~3
平成21年度決算審査	4
議員研修	5
クエスチョン? 一般質問	6~9

平成22年度9月補正予算

72,308千円増額

9月定例会に提案された一般会計並びに4特別会計の補正予算は歳入歳出それぞれ72,308千円を増額するもので、町議会は原案のとおり可決しました。

【主な補正内容】

・衆議院議員補欠選挙費	10,300千円
・障がい者自立支援給付金国庫支出金返納金	3,594千円
・インフルエンザ予防等の接種委託	2,314千円
・後期高齢者医療広域連合納付金	3,836千円
・地域支援事業費	15,615千円
	など

平成22年度9月補正の結果

会計名	補正額
	補正後の予算額
一般	25,027千円
	8,320,517千円
後期高齢者医療特別	3,898千円
	169,264千円
老人保健特別	4,473千円
	5,385千円
介護保険特別	36,399千円
	1,099,879千円
介護サービス事業特別	2,511千円
	63,334千円

平成22年第4回 当別町議会定例会

平成22年第4回当別町議会定例会は、9月1日から9日まで9日間の日程で開催されました。

町議会は、定例会初日に1件の議員提案を可決、1件の陳情を議会運営委員会に付託し（最終日に不採択と決定）、平成22年度一般会計補正予算案を含む10件の議案を原案のとおり可決しました。

3日から8日までは休会し、決算審査特別委員会を設置して平成21年度各会計の決算を審査し、委員会の報告をもって最終日に原案のとおり認定しました。また、最終日には町から提出された2件の議案を原案のとおり可決しました。なお、一般質問は2日に4人の議員が行いました。



当別町140年 記念事業

明治4年に当別の地を切り拓いてから140年を迎えることを記念して10月9日～11日の3連休に当別町と姉妹都市である宮城県大崎市、愛媛県宇和島市、スウェーデン王国レクサンドをはじめ町内外からたくさんの方が集まり、パークゴルフ、パレードや記念式典など様々な行事が盛大に開催されました。

こんなことが 決まりました

教育委員会委員の任命について
 一般会計補正予算（第2号）
 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
 老人保健特別会計補正予算（第1号）
 介護保険特別会計補正予算（第1号）
 介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
 当別町手数料条例の一部を改正する条例制定について
 各小・中学校地上波デジタルテレビ等購入契約について
 教職員校務用パソコン購入契約について
 平成22年9月1日から同年9月30日まで
 の間における当別町長の給料の減額に関する条例制定について
 当別小学校校舎耐震改修工事請負契約について
 当別中学校校舎・屋内体育館耐震改修工事請負契約について

9月定例会人事

新たな教育委員会委員に武岡氏

高橋嘉弘氏の任期満了に伴い、新たに武岡和廣氏の任命に議会は同意しました。任期は平成22年10月1日から4年です。

教育委員会委員：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により教育に関する事務を処理するため教育委員会が設置され、5人の委員で構成されています。委員は町長が議会の同意を得て任命します。委員長は委員の中から互選され、教育長は委員長以外の委員の中から教育委員会が任命します。



武岡 和廣 氏
61歳
(太美町在住)

議員提案

定例会初日に議員提案1件が提出されました。

議員提案第1号

道路の整備に関する意見書 提出者 小野 廣實

【原案可決】

本議員提案に柏樹議員が反対討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決されました。

なお、定例会終了後に町議会は本議員提案の意見書に係る機関へ送付しました。

請願・陳情 審査付託の件

定例会初日、町議会は陳情1件を議会運営委員会（小野廣實委員長）に付託しました。

議会運営委員会での審査の結果、不採択となり定例会最終日に小野委員長が本会議で報告し、決定されました。

陳情

当別町議会議員定数削減に関する陳情

《陳情者》

渋谷俊和氏（太美町）

137億円の成果を認定

～平成21年度の歳出決算～

《平成21年度当別町各会計決算表》

各会計		決算額(円)	各会計		決算額(円)
一般会計	歳入総額	9,186,521,076	下水道事業特別会計	歳入総額	1,195,617,641
	歳出総額	8,995,568,951		歳出総額	1,181,813,231
	差引額	190,952,125		差引額	13,804,410
国民健康保険特別会計	歳入総額	2,059,181,974	農業集落排水事業特別会計	歳入総額	96,901,779
	歳出総額	2,160,234,109		歳出総額	94,822,951
	差引額	101,052,135		差引額	2,078,828
老人保健特別会計	歳入総額	34,221,668	介護保険特別会計	歳入総額	1,082,835,411
	歳出総額	29,747,101		歳出総額	1,054,374,645
	差引額	4,474,567		差引額	28,460,766
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	162,309,478	介護サービス事業特別会計	歳入総額	62,347,140
	歳出総額	158,410,206		歳出総額	59,834,792
	差引額	3,899,272		差引額	2,512,348
			水道事業会計	収益的収入	416,492,383
				収益的支出	388,720,836
				差引額	27,771,547

一般会計：特別会計に属さない、福祉や教育、消防など地域住民に広く行われる事業における歳入・歳出の会計のこと。

議会は、平成22年第4回定例会を休会し、9月3日、6日、9日の3日間の日程で平成21年度当別町各会計決算審査特別委員会（白木和廣委員長、以下決算委員会）を設置し、平成21年度決算（参照：左記決算表）を慎重に審査しました。一般会計と7つの特別会計を合わせて137億3千万円の歳出決算と3億9千万円の水道事業会計の収益的支出の決算を原案のとおり認定しました（詳細は広報とつづつ11月号をご覧ください）。

なお、決算委員会の報告書は、下記の5人の委員で構成する起草委員会（市川正委員長）が作成しました。

平成21年度当別町各会計 決算審査特別委員会報告書

平成21年度当別町一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計、後期高齢者医療特別会計並びに水道事業会計決算について、平成22年9月3日、6日、9日の3日間に亘り慎重審査の結果、一部意見を付して次のとおり決定したので報告します。

1 審査の結果

- (1) 認定第1号 平成21年度当別町各会計歳入歳出決算
- (2) 認定第2号 平成21年度当別町水道事業会計決算

本各案件は、原案のとおり認定すべきものと決定した。

なお、議会の議決を要する700万円以上の教育用備品の購入にあたり、議決を経ることなく本契約を締結したことについては、地方自治法及び町条例に違反するものであり、大変、遺憾なことである。

今後、二度とこのような事務的なミスが発生しないよう、職員の研鑽、資質向上に努めるとともに、チェック体制の見直しを早期に図られたい。

平成22年9月9日

議長 竹田 和雄 様

平成21年度当別町各会計
決算審査特別委員会
委員長 白木 和 廣



右から桐井信征副委員長、白木和廣委員長（中央）と中越議会事務局長（左）

起草委員会

委員長	市 川 正
委員	小 野 廣 實
委員	神 林 俊 一
委員	桑 内 雅 彦
委員	石 川 和 栄

平成22年度議員研修の報告

政務調査研修

【9月11日～13日】
竹田議長を団長に9名の議員が9月11日と12日に姉妹都市である宮城県大崎市を表敬訪問しました。市内岩出山地域で第47回政宗公まつりを見学したほか、市内田尻地域で冬水田んぼの現地視察研修を行いました。13日には同県内村田町物産交流センターで農業・観光の情報発信基地としての役割や運営方法のほか、地産地消の農産加工品などの視察研修を行いました。



古民家を活用した地域活性化拠点施設「上の家(大崎市岩出山)」

議会広報研修会

【8月20日】
広報コンサルタントの深沢徹氏を講師に迎え「ありのままに分かりやすい記事と読みやすい紙面づくり」をテーマに研修を受講しました。深沢氏は議会広報コンクールの審査員などをされており、研修会では8つの町の議会広報誌を題材にクリニックが行われ、様々なレイアウト技法や表現技術を学ぶことができました。学んだことは今後の本議会だよりにより反映させ、わかりやすく読みやすい紙面づくりを目指していきますので、これからもご高覧願います。



研修を受講する委員

議員研修



森林総合研究所分収造林地作業道の新設工事現場

【9月27日】
全議員で構成される森林・林業・林産業活性化推進当別町議会議員連盟では毎年、町有林などの現地視察を行っています。今年は上当別の「げんきの森」と森林総合研究所分収造林地作業道の新設工事現場を視察しました。



擬似体験(ゆとろ)

【10月25日】
障がいのある方や高齢者の方の状況を理解するため福祉疑似体験をする議員研修会を行いました。



旧川下小学校前

【8月23日】
町内の旧学校施設の活用状況を調査するため旧川下小学校を訪問しました。現在はNPO法人当別エコロジカルコミュニティが利用していて、活動内容や運営方法などの説明を受けました。また、同日に旧中小屋中学校にも訪問する予定でしたが、現時点で現場整理ができていないことから急遽中止しました。



旧川下小学校内部

議会運営委員会委員会 道内所管事務調査

【10月14日～15日】
議会運営と議会改革(活性化)をテーマに名寄市議会と滝川市議会を訪問しました。名寄市議会は平成21年4月から「議会基本条例」を施行し、議会機能を十分に発揮してその責任を果たせる議会運営を目指すなど、議会改革の先進地です。両議会で議員同士の活発な意見交換を行いました。また、町内のダム工事建設現場も視察しました。



滝川市議会議場



着々と進んでいるダム工事

産業建設常任委員会 道内・町内所管事務調査

【8月23日】
今金町で合併浄化槽設置整備事業と汚泥処理施設共同整備事業の研修を行いました。今金町には平成15年から供用開始した浄化センターがあり、施設内も視察しました。
【8月25日】
町内の農作物(米、花卉等)の生育状況を確認するため4箇所の圃場を視察しました。また、太美町の幹線配水管の敷設工事現場も視察しました。



今金町役場前



太美町の配水管施設工事

一般質問

公営住宅を

どのように整備するのか



島田 裕司 議員

町長

平成25年度までに
事業計画を策定する

問 平成10年に策定した町営住宅再生マスタープラン(以下、再生プラン)では、どのような整備を考えていたのか。

答 当時の基本的な考えと建てかえ団地、用途廃止する団地、新規につくる団地、現状を維持管理する団地、それぞれどう計画していたのか伺う。

町長 再生プランでは「ひまわり」、「末広」と「もみじ」の3団地、計

130戸を解体し、平成14から19年度までに末広団地への建てかえを行うこととなっている。

しかし、当時と現在とは人口など社会情勢や財政状況に大きな変化があることから再生プランの大幅な見直しを考えている。

問 第5次総合計画には「既存の町営住宅の整備に努め、老朽化した町営住宅は廃止するなどを含め検討する」とある。

また、高齢者や障がいを持つ人に配慮した公営住宅の整備をする」とあるが、具体的にどのような公営住宅を想定しているのか。さらに、「福祉と連携する」とあるが、ケアセンター的構想の設置も含めての計画があるのか。

高年齢者の生活特性に配慮したバリアフリー化させたシルバーハウジングプロジェクトを導入していくことなのか伺う。

町長 ケアセンターやシルバーハウジングとは、60歳以上の方向けの住宅のみを対象とするもの



平成19年度までに建てかえる計画だった末広団地

で一般住宅は対象外であることから現在導入する考えはない。

しかし、国が財政事情の厳しい自治体に対して公営住宅改修が対象である長寿命化計画策定事業を制度化した。平成25年度までに事業計画を策定しなければならぬもので、町ではプロジェクトチームを設立し、財政計画も踏まえて検討していきたい。

問 町営団地は8つあるが、これらの土地はひまわり団地以外、民地をいまだに借りていて、平成22年度の借り上げ料は、

約1,777万円を支払っている状況である。今後、再生プラン等で建てかえをする用地は団地の規模等もあるが、財政的な見地から遊休の公用地等を積極的に活用する方法を検討してはどうか。

町長 町の都合で「不要になったからすぐに返す」ということにはならない。用地の用途廃止を行い、コストを考慮した再生プランをつくらなければならぬ。庁舎内外の有識者とともにその策定にかからなければならぬと考えている。

問 平成10年策定の再生プランは、一体何だったのか。委託業者に任せっきりで、ただつくればよいだけのものだったのか。なぜ今まで何ら見直しもせず、財政難を理由に先送りしてきたのか。

早急に有識者等を含めたプロジェクトチームをつくり、財政的計画を盛り込んだ実効性ある再生プランに見直すべきだと考える。

町長は、町営住宅の再生整備に民間アパート等

の空き室の活用やPFI事業の活用などを検討したいと言っているが、現在どのような検討がなされ、その可能性は本当にあるのか伺う。

町長 町内には世帯数より住宅数が多くあるので住宅事情のニーズに対応した計画を策定しなければならぬと考える。

合理的な住宅政策が必要だということは島田議員ご発議のとおりだと私も認識しているのでご理解いただきたい。



平成8年度に建てかえられた新春日団地7号棟

5ℓごみ袋の導入を



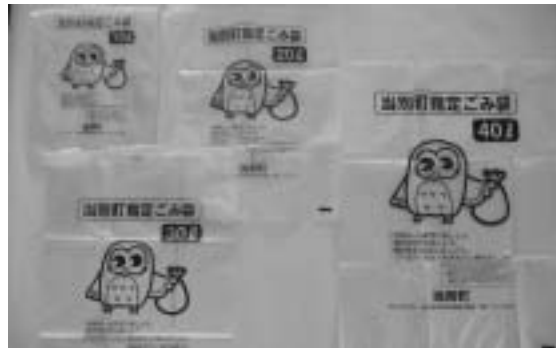
柏樹 正 議員

町長

町民ニーズを確認し検討したい

問 有料化に伴う指定ごみ袋が導入されて数年経過している。今後さらに増加する単身・高齢者から「10リットル（以下、ℓ）のごみ袋を使っているが大いのでそんなにたまらない」、「毎回少量でも生ごみは小まめに出していきたい」という声を最近多く聞く。今夏のように暑い日が続くとしごみなどは衛生面からも小さな袋の必要性を感じるのとは当然とも思う。「種類が多くて生産数量が少ないと生産単価が上がる」というゴミ袋製作のコスト面、効率性等から現行の4種類が続いてきたと思うが、住民側か

らすると10円、20円といえどもごみの処理にお金をかけることに対する抵抗感がある。札幌市などでも5ℓ袋を使っており、当別町でもぜひ導入を検討すべきと考えるが、町長の見解を伺う。



4種類ある現行のゴミ袋

町長 町が家庭ごみの有料化に踏み切った大きな理由は、ごみの減量化と限りある資源を無駄にしないことの必要性からであるが、町指定ごみ袋の種類は、石狩管内の状況も確認して10ℓ、20ℓ、30ℓ、40ℓの4種類に設定した。

平成21年度のごみ袋の売り上げは、10ℓ袋が全体の約30%、20ℓ袋が35%、30ℓ袋が21%、40ℓ袋が14%となっている。高密度圧縮ポリエチレンが原料になっているごみ袋の製作には、10ℓ袋1枚が約6円、5ℓ袋だと4円から5円位と割高になる。

しかし、5ℓ袋の要望が出ていることを踏まえて今後どの程度必要なのか、簡単なアンケートなどにより町民のニーズを確認し、対応を検討していきたい。

除排雪の充実を

問 より充実した体制で臨むことを期待し、本年度新たに对应すべき具体的な課題と除排雪の基準などに変更点があるのか伺う。

市街地中心部では、歩道を確保できずにお年寄りや子どもたちが車道を通らなければならぬところがある。具体的には、当別駅前から当別小学校に向かう道路、中通り、中央通りの交差点付近などである。例年、凍結や

車道歩行を余儀なくされ、かつ交通量の多いところの対応を伺う。

また、道路間の時間差による除雪であるが、例えば、都市計画街路を先に歩道部分を除雪した後、に町道の除雪を行うと、そこに再度雪がたまり、通勤、通学のとくに邪魔になる。路面状況を把握した道路・歩道管理の迅速な対応も伺いたい。

町長 平成19年度から26の町内会による雪対策協議会を設立し、その協議会が生活道路の排雪を行うなどして3年間経過しているが、特に混乱はないものと認識している。今年度も例年の基準に基づき、全

長約308kmの町道、28kmの歩道、36kmの幹線道路、総量9万5千m³の排雪を行う予定である。ご指摘の除



車両にも歩行者にも危険なつるつる路面

雪の仕方や時間差による道路と交差する歩道の置き雪や中心市街地の歩道の確保は充実させるべき課題である。また、交通量の多い道路の交差点などはつるつるになり、滑りやすいことから焼き砂を散布するなどしているが、今年度もさらに道路パトロールを強化して適切かつ効果的な散布を行い、道路の安全対策に努めていきたいと考えている。

東裏墓地の整備を

していただきたい



小早川孝男 議員

町長 年次計画を立て
必要な整備を進める

問 当別町は今年で140年を迎えようと、駅前の大通りには早くからのぼりが立ち、10月10日の記念日を迎えようとしているが、その140年の歴史を代々にわたって築いてきた先人たちが眠る東裏墓地内が8月24日の豪雨で写真のように水浸しになってしまいう大変な状況があった。

その状況はあたかも河口湖に映る逆さ富士のように墓石が連なって水面に映っていて、全くいただけない。

泉亭町長自身の言葉の中にもあるように、この町の140年の歴史を築いてきたのは殿様や一部

の著名な人の力だけではないのだと、明治4年からその生涯をこの地で終えていった人たち一人一人の汗の結晶なのだ。

「私たちの居場所、余りにもひどいのではないかと」言っていると思う。「申しわけない、すぐに対応します」との思いで、



大雨により冠水した東裏墓地

その多くの人たちが眠り続ける居場所の墓地が一時であったとしても水浸しになるのでは、それこそ墓地に眠る声なき声

まずは排水対策、加えて使用通路網の改良、何れ所にも山積みになっていくごみの山など、総合的な墓地整備に取り組んで

いたいただきたい。思いがさめやらぬうちに取り組まなければならぬものと考ええる。

年に1度か2度しか人の寄らない場所の整備は、後回しになりかねないので今回あえて一般質問に取り上げた次第である。心したご答弁をいただきたい。

町長 8月の大雨により町内11カ所の墓地のほとんどに被害があった。東裏墓地は、平地にあるので一部冠水した。

私自身も東裏墓地の状況はみている。お盆前の8月11日から12日にかけての雨で駐車場の東と西側の2カ所が冠水し、職員が側溝のごみの撤去作業を行い、12日のうちに水は引いた。次にお盆後の8月22日から24日にかけての大雨で南西と北西側の2カ所が大きく冠水し、職員が再度、側溝などのごみを撤去し、

雨も止み25日にはほとんど水は引いた。このときの冠水面積は約1千㎡、墓地全

体の3から5%ほどが水浸しになってしまったという状況で、最深20cm強はあったと思う。

このような発生原因は墓地の外回りの側溝の排水機能が不備であったと思われるので、今後、調査を行い、今回のような冠水を最小限度に抑えられるように抜本的対策を講じたいと考えている。

町の第5次総合計画でも墓地の環境保全に努めることを挙げているので今後具体的な年次計画を立て、必要な環境整備を進めていきたいと考えている。



みるに耐えないごみの山

駐車区画に思いやりのある表示板の設置を



石川 和栄 議員

町長 わかりやすいマーク表示を設置する

町長 現在、ゆとりの専用駐車場スペースには、車いすのマークが路面に描かれていますが、外見では健常者と見分けがつかない内部障がい者の方から「周りの目が気になる」として駐車しづらい」との声を。町役場を始め、ゆとろ、公共施設に駐車区画とともに内部障がい者の方、妊産婦の方が安心して優先スペース



質問後にマーク表示された駐車場(ゆとろ)

町長 ゆとりの来客者用駐車場では正面玄関近くに4箇所、車いすマークをアスファルト上に描いて障がいのある方が優先してとめられるスペースを確保している。優先駐車スペースは障がいのある方に限らず、妊娠中の

方や内部障がいのある方もご利用いただけるようになってきている。しかし、妊娠初期の方は外見から妊娠していることがわかりにくいことから母子健康手帳交付の際にマタニティマークのキーホルダーとステッカーを配付している。また、心臓機能や肝機能、臓器機能などの機能障がいをもつ内部障がい者で希望される方にはハート・プラスマークカードを配付している。さらに町では、妊産婦や内部障がい者に優しい環境づくりを推進するためにマタニティマーク、ハート・プラスマークをポスター、町広報や町のホームページでの周知を図っている。外見からそのような状態がわかりづらい方たちが役場、ゆとろやコミュニティセンターなどの公共施設で安心して気軽に駐車できるように駐車スペースを確保するとともに、妊産婦や内部障がい者が優先駐車スペースの利用対象者であることがわかるよう各マークを使

用した表示の設置を考えている。

空き家倒壊後の

残骸対策について 高齡化や過疎化などを背景に、空き家の軒数は今後増加すると考え

る。空き家が老朽化していくと台風、豪雪など自然災害で倒壊する危険性や猛暑、豪雨の影響で害虫が発生するなど衛生問題が発生し、近隣への被害や犯罪の温床にもなる。

そこで、町は空き家の実地調査をしているのか。また、所有者に空き家の適正な管理の義務を課しているのか。さらに所有者へ倒壊後の残骸処理など、必要な措置を講ずるようになっているのか。町民に迷惑をかけている所有者に対して責任と義務を課す条例を制定すべきではないか。町民生活の環境保全及び防犯のまちづくりに寄与することが最も大事なことだと思

うが、町長の考えを伺う。町長 廃屋等で景観を阻害しているものは景観委員会が町内を視察して実

態を把握しているが、一般的な空き家等の実態は把握していない。今後、移住希望者などに対する空き家バンク的な対応を含め、実態把握に取り組んでいきたい。

また、廃屋などの所有者には整理、あるいは処分という要請をしているが、そのような対応はもう限界だと思っている。

ご指摘のとおり、廃屋等には景観のみならず環境衛生、防災、防犯の観点から必要と判断した場合には、その所有者に指導し、指導に従わない場合には勧告、勧告にも従わない場合には期限を決めて命令できる条例の制定を検討したいと考えている。



様々な問題が危惧される家屋残骸

議会のページ

(平成22年8月～平成22年10月)

H22・8月

岡山県議会行政視察来町
福岡県京都郡苅田町議会行政視察来町
産業建設常任委員会

長野県伊那市行政視察来町
総務文教厚生常任委員会

議員協議会

議会広報研修会(札幌市)

総務文教厚生常任委員会

産業建設常任委員会道内所管事務調査(今金町)

議会運営委員会

産業建設常任委員会

島根県議会行政視察来町

総務文教厚生常任委員会

議会運営委員会

9月

平成22年第4回定例会(3日～8日休会)

平成21年度当別町各会計決算審査特別委員会(4日～5日、7日～8日休会)

学園都市線電化促進特別委員会

政務調査研修(宮城県大崎市、村田町)

鷹栖町議会行政視察来町

森林・林業・林産業活性化推進当別町議会議員連盟研修会

議員協議会

10月

議員協議会

当別町140年記念事業(姉妹都市の大崎市議会と宇和島市議会来町)

議会広報特別委員会

議会運営委員会所管事務調査(名寄市、滝川市)

議会広報特別委員会

当別町議会議員会研修会

千葉県原市議会行政視察来町

岐阜県美濃市議会行政視察来町

10・29
10・27
10・25
10・21
10・14
10・13
10・15
10・9
10・5
10・11
9・27
9・21
9・11
9・9
9・3
9・1
9・9
8・31
8・26
8・25
8・23
8・23
8・20
8・19
8・18
8・6
8・5



平成22年第4回定例会

議会の傍聴には 規則があります！

議会の傍聴には『議会傍聴規則』があります。議場傍聴席での**写真撮影や録音等の無断行為**は規則により禁止されています。写真撮影や録音等の行為には「**議長の許可**」が必要ですので予め議会事務局へお申し出ください。規則を遵守のうえ、傍聴していただきますようご協力をお願い致します。

編集後記

当別町140年を記念して様々なイベントが町内各地で催され、10月9日～11日には市街地でのパレードや記念式典が盛大に執り行われた。10日のパレードは朝から雨が降っていたにもかかわらず、スタート直前に雨が上がり、濡れることなく所定のコースを行進することができた。まるで天が祝福してくれているかのようで、まさに神がかりであった。



阿蘇公園を出発して行進中の武者行列

当日は町内外からたくさんの方が来て、パレードの沿道にはたくさんの人垣ができていた。当別と姉妹都市であるスウェーデン王国レクサンドの夏至祭、同じく宮城県大崎市の政宗公まつり、同じく愛媛県宇和島市の牛鬼まつり。パレードでは地元の特産品や音頭とともに3つのお祭りが再現された。今後、それぞれ地域を行き交う人的交流だけでなく、経済交流や文化交流など市民レベルでの草の根交流にどんどん発展していってほしいものである。